外来診療のご案内

平成30年10月1日改定

■内科　【受付時間】午前8:30～11:30　午後1:00～3:00

診療科	月 午前	月 午後	火 午前	火 午後	水 午前	水 午後	木 午前	木 午後	金 午前	金 午後
呼吸器・感染症内科	北里 裕彦 今岡 治樹 （気管支喘息・COPD外来）	今岡 治樹 （禁煙外来のみ） （要予約）	今岡 治樹		山田 和子 末安 禎子	北里 裕彦 （禁煙外来のみ） （要予約）	北里 裕彦 （初診のみ）	北里 裕彦 （専門外来のみ） （要予約）	北里 裕彦 山田 和子	
腎臓内科			岩田 菜津美 南 浩		酒井 和子		南 浩 （再診予約のみ）			
内分泌・代謝・糖尿病内科（甲状腺）	副島 恵理 渡邉 千加世	副島 恵理 渡邉 千加世	安田 淳一 渡邉 千加世	安田 淳一		副島 恵理 渡邉 千加世	副島 恵理 渡邉 千加世		光井 暁子 渡邉 千加世	副島 恵理 渡邉 千加世
消化器内科	松隈 則人 佐々木 望		佐々木 望 高木 浩史		松隈 則人 増田 裕		増田 裕 牛嶋 珠里		高木 浩史 牛嶋 珠里	
循環器内科	平井 祐治 竹下 奈穂		阪上 暁子		平井 祐治 竹下 奈穂		平井 祐治 竹下 奈穂		平井 祐治 竹下 奈穂	

■外科　【受付時間】午前8:30～11:00

一般消化器外科	亀井 英樹 （初診のみ） 田中 克明		白水 和雄 亀井 英樹 吉村 侑里子		白水 和雄		亀井 英樹 （初診のみ） 田中 克明 田尻 健亮		亀井 英樹 田尻 健亮	
乳腺外科	田中 眞紀 山口 美樹 （初診のみ）		大塚 弘子 合田 杏子 （初診のみ）		田中 眞紀 （初診のみ） 山口 美樹 大塚 弘子	【形成外科】 矢永 博子 （毎月第4水曜日） （12:30～）			田中 眞紀 （再診予約のみ） 山口 美樹 大塚 弘子 （初診のみ）	
化学療法室	田尻 健亮		三輪 啓介 山口 美樹		合田 杏子		横山 吾郎 亀井 英樹		三輪 啓介 田中 克明	

■整形外科　【受付時間】午前8:30～11:00

	安藤 則行				木内 正太郎		安藤 則行 副島 崇 ひざスポーツ専門		安藤 則行 兼行 祐司	樋口 富士男 （毎月第1金曜日） （14:00～）

■産婦人科　【受付時間】午前8:30～11:00

	畑瀬 哲郎 園田 豪之介 葉 高杉		畑瀬 哲郎 園田 豪之介 葉 高杉		園田 豪之介 葉 高杉		園田 豪之介 葉 高杉 久留米大学 非常勤医			

※現在、分娩の取り扱いを休止しております。

■泌尿器科　【受付時間】午前8:30～11:00

	井手 篤史		井手 篤史 川口 義弘		井手 篤史 （受付10:30まで）		井手 篤史		井手 篤史	

■麻酔科/ペインクリニック内科　【受付時間】午前8:30～11:30

	杉山 和英				杉山 和英		杉山 和英 （再診予約のみ） （9:00～11:00）		杉山 和英	杉山 和英 （緩和ケア外来のみ） （要予約）

■眼科　【受付時間】午後1:00～3:00

		久留米大学 非常勤医								久留米大学 非常勤医

■皮膚科　【受付時間】午後1:00～3:00

				久留米大学 非常勤医						

■放射線科（画像診断）

	河野 れい	寺﨑 洋	河野 れい	寺﨑 洋	寺﨑 洋	寺﨑 洋	河野 れい	河野 れい	河野 れい	寺﨑 洋

※他院からの紹介・検査依頼に基づいて画像診断を行いますので、患者さまからの直接のお申込はできません。

■放射線科（放射線治療）

※当院を受診中の患者さまを対象とした診療を予約制で行っています。毎週火曜日（午前）　担当医：氷室 秀知

■総合診療科　【受付時間】午前8:30～11:30　午後1:00～3:00　※午後は初めての方のみの受診となります。

	佐々木 望 長原 慶典	山田 和子	今岡 治樹	岩田 菜津美	末安 禎子	今岡 治樹	北里 裕彦	松隈 則人	山田 和子	長原 慶典

■女性総合診療科（水曜午後）　【受付時間】午前8:30～午後3:00　【診療時間】午後1:30～4:00

						各診療科 女性医師				

※各診療科すべて、初めて受診される方も再来の方も事前のご予約が必要となります。

担当医
佐々木 望（消化器内科）/亀尾 順子（内分泌内科）/富田 裕子・上松 章子（内科）
田中 眞紀・山口 美樹・大塚 弘子・佐藤 郷子（乳腺外科・外科）/高尾 真美（産婦人科）/守屋 普久子（泌尿器科）
※内科 富田医師は第1・第4水曜日のみ　※泌尿器科　第1水曜日は完全予約制ですので受診希望の方は事前のご予約が必要となります。

■精神科（リエゾン）

※当院を受診中の患者さまを対象とした診療を予約制で行っています。毎週木曜日（午後）　担当医：比江嶋 啓至

■腎センター（シャントトラブルの紹介は、前もって地域連携室へご連絡ください）

	月		火		水		木		金		土	
腎センター外科	枝國 節雄		枝國 節雄				枝國 節雄		枝國 節雄			
血液透析	●		●		●		●		●		●	
CAPD	●						●					

JCHO 久留米総合病院　Japan Community Healthcare Organization: JCHO
〒830-0013　福岡県久留米市櫛原町 21 番地
TEL：0942-33-1211　FAX：0942-32-0113　URL： http://kurume.jcho.go.jp/
2018 年 10 月発行　発行責任者：院長　田中 眞紀　編集：広報委員会

JCHO くるめニュース

ほとめき

No.17
2018
秋号

「ほとめき」とは筑後の方言で「おもてなし」という意味です。
書：院長　田中 眞紀

撮影：山田 孝典「みやき町にて」

当院の理念

地域住民の多様なニーズに応え、安全・安心で心の通う医療を提供する

方　針

1. 利用者の尊厳を守り、地域での包括的な医療支援やサービスに努める
2. 地域に密着した公共性の高い医療を目指す
   ①地域医療機関との連携を強化する
   ②地域に特色のある医療を担う
3. 質の高い医療を提供するために資質の向上に努める

独立行政法人地域医療機能推進機構
ジェイコー
JCHO 久留米総合病院

【診療科紹介】

一般外科・消化器外科

◆当科の特徴について

当院の一般外科・消化器外科は、1946 年の旧社会保険久留米第一病院の開院時より今日まで約 70 年間、地域に信頼される外科治療を提供してまいりました。当科で主に取り扱う疾患は、消化器疾患の悪性腫瘍（食道・胃・大腸癌、肝胆膵癌など）から、胆石症、ソケイヘルニアなどの良性疾患まで多岐に及びます。手術症例数は年々増加傾向を示しており、最近では、一般外科・消化器外科の手術症例：約 420 例の実績があります（下図参照）。
特に、『To put the patient first（患者第一）』をモットーに、定例手術だけでなく緊急手術にも対応しております。
近年、お腹を大きく切らず身体に与えるダメージを軽減した腹腔鏡下手術が、一般外科・消化器外科領域においても急速に普及しています。腹腔鏡下手術は、従来の開腹手術とは異なる高度で特殊な手術手技が要求されます。当院では、筑後地区で 3D による内視鏡手術システムを手術室にいち早く導入しており、従来の平面的な 2D 映像では困難であった対象臓器の奥行き感の把握などが容易に可能となっています。これら最先端の手術機器を用いることで腹腔鏡下外科手術の更なる精度が向上しており、より安全に施行可能となっています。また、当科では日本内視鏡外科学会技術認定医が手術に立会います。

◆手術風景

がんの手術では、根治性を確保しながら機能温存手術に挑んでいます。手術前の身体の状態になるべく近づけた術式（再建方法や吻合）を行うことで、術後の QOL 確保に努めています。下部消化管では肛門温存が不可能（永久人口肛門が必要）と考えられた下部直腸がんに対して人工肛門を避けた究極の肛門温存手術（括約筋間切除）を、上部消化管では上部胃がんに対する噴門側胃切除の際に逆流防止機能を備えた観音開き法による吻合を施行しています。これらの術式も腹腔鏡下に遂行することが可能です。一方で、手術時に高度局所浸潤や切除不能と診断された転移を有した進行がんに対しては、抗がん剤による術前化学療法を効果的に行った後に開腹手術を行い、治癒切除および生存率の向上を図っています。当科には、がん薬物療法専門医のほか、消化器外科領域の抗がん剤治療に精通した専門医が診療を担当しています。がん治療に関わる多職種のスタッフによるカンファランスを定期的に開催しており、チーム医療による最善で良質ながん治療を提供しています。
最後に、当科での外科切除症例のほとんどは、地域医療連携機関からの紹介患者様です。手術後には積極的に逆紹介を行うことで、地域完結型の外科治療を目標としています。また、ご紹介いただきました手術症例の中から、久留米大学病院臨床検査部のご協力を頂き、『地域連携の臨床検討会』を本年より定期的に開催しております。貴重な症例を再検討することで、一つ一つの症例から学ばせて頂き、今後の治療向上に努めたいと思っております。

（文責：外科部長　亀井英樹）

◆手術症例数の推移

■手術例数と鏡視下手術率の推移

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
全手術総数		295例	286例	370例	372例	417例
胃疾患	部分切除術 全摘術	28例(57.1%) 6例(33.3%)	23例(65.2%) 4例(0%)	29例(66%) 10例(10%)	27例(66%) 7例(28%)	38例(23例:60%)
結腸疾患		31例(71.0%)	39例(82.1%)	38例(89%)	29例(79%)	42例(29例:69%)
直腸疾患		23例(56.5%)	13例(69.2%)	13例(89%)	17例(76%)	21例(15例:71%)
肛門疾患		–	–	–	–	7例
虫垂疾患		16例(43.8%)	11例(18.2%)	27例(92%)	22例(95%)	19例(19例:100%)
肝臓疾患		6例(16.7%)	4例(0%)	4例(25%)	8例(12%)	23例
膵・脾臓疾患		–	–	–	–	9例(2例:22%)
胆嚢疾患		31例(100%)	34例(97.1%)	72例(94%)	74例(97%)	69例(64例:93%)
鼠径ヘルニア疾患		44例(40.9%)	45例(57.8%)	48例(58%)	56例(64%)	67例(47例:70%)
肺疾患		13例(69.2%)	16例(62.5%)	20例(65%)	25例(88%)	15例(13例:87%)

※（%）は鏡視下手術率

外科主任部長
白水　和雄

日本外科学会指導医
日本消化器外科学会指導医
消化器がん外科治療認定医
日本大腸肛門病学会指導医
日本消化器病学会指導医
日本消化管学会胃腸科指導医

外科診療部長
亀井　英樹

日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・一般外科）
日本外科学会指導医
日本消化器外科学会指導医
日本大腸肛門病学会指導医
日本消化器外科学会　消化器がん治療認定医
日本がん治療認定医機構　がん治療認定医

外科医長
田中　克明
日本外科学会専門医

外科医員
田尻　健亮
日本外科学会専門医

外科医員
吉村　侑里子

外科医員
緒方　奈々恵

NST セミナー

2018年8月9日(木)に当院講堂で第6回久留米総合病院ＮＳＴセミナーを開催しました。

講師は、久留米大学消化器内科 川口 巧先生で「チームで取り組む脂肪肝・肝硬変・サルコペニア」と題して講演して頂きました。サルコペニアとは、加齢に伴う筋肉量減少及び筋力低下を指す病態で、近年、大きな問題となっています。当院職員６５名が参加し、参加者は熱心に川口先生の講義に耳を傾けていました。

NSTスタッフと回診風景

ＮＳＴとは栄養サポートチーム（Nutritional Support Team の略）で、入院中の患者さんの栄養状態を判定し、早期栄養障害の発見と適切な栄養管理を実践することを目的として活動するチームです。

ＮＳＴメンバーは専門的な研修を受けた医師・管理栄養士・看護師・薬剤師・臨床検査技師や理学療法士から構成されています。主な活動内容は毎週のＮＳＴ病棟回診、月１回のＮＳＴ委員会、年３～４回の院内勉強会、年１回の外部講師を招いてのセミナーです。今回のセミナーを参考にして、NST 活動をさらに充実したものにしようとメンバー一同決意した次第です。

（文責：ＮＳＴ委員会 委員長（統括診療部長・腎臓外科部長）枝國 節雄 医師）

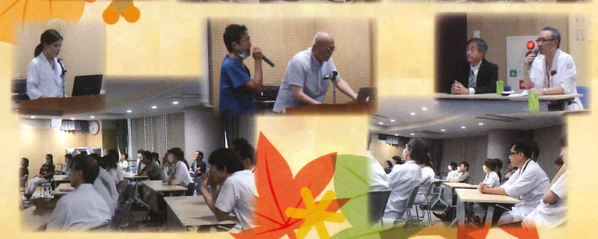
地域連携講演会

8月10日(金)
テーマ：第1回JCHO久留米総合病院 消化器疾患に対する病診連携公開カンファレンス
講　師：久留米大学病院 臨床検査部 教授
中島　収先生

9月27日(木)
テーマ：帯状疱疹と脊柱管狭窄症について
講　師：久留米大学病院 緩和ケアセンター長
福重　哲志教授
当院副院長　杉山　和英先生

※次回以降は、下記の日程で開催予定です。

10月15日(月) 18:30より　講師：久留米大学医療センター・先進漢方治療センター 教授 恵紙英昭先生
「がん支持療法としての漢方治療～内服の工夫も含めて～」



2018年度　JCHO久留米総合病院　市民公開講座

市民のための健康教室

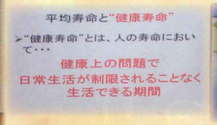
会場：当院２階講堂　時間：14:00～15:00
予約の必要はありません。お気軽にご参加ください。

7/13（金）

テーマ：骨を強くしよう～食事と運動のすすめ～
講　師：健康管理センター 保健師　深山 真希子

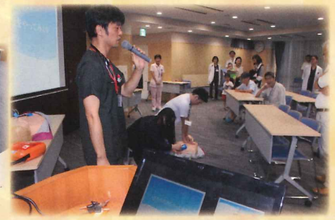
8/10（金）

テーマ：高血圧について学ぼう
講　師：健康管理センター長／循環器内科部長　医師　平井 祐治



9/7（金）

テーマ：救急医療について学ぼう
講　師：救急科医長　医師　髙木 浩史



切手の小さな美術館（JCHO久留米総合病院　慈善活動）

JCHO 久留米総合病院では、古切手（使用済み切手）を集める慈善活動を行っております。

この慈善活動は、院長田中 眞紀 医師が約 3 年前から始めた地域貢献活動の一環で行なっているものです。集めた古切手は、世界の子ども達が必要とするポリオワクチン等と交換され病気から子どもを守る活動に役立てられるそうです。

当初、院長とその周囲から始まり、現在は当院約 400 名の職員に広がり、また患者様も沢山集めて持ってきて下さるようになりました。ご協力して下さる心優しい皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。またこれからもご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

夏祭

水の祭典久留米まつり「一万人のそろばん総踊り」

今年も８月４日（土曜日）「水の祭典」久留米まつりのメインイベント「一万人のそろばん総踊り」に参加しました！今年は猛暑が続いていましたが、 本番前に曇ったので暑さが少し和らぎました。 お揃いの法被とそろばんに見立てた団扇に鈴をつけてリンリンと鳴らしながら、約２時間を笑顔で踊りきりました。 参加された皆さん、お疲れさまでした！

JCHO 久留米総合病院附属介護老人保健施設
第 23 回納涼大会

８月 18 日（土曜日）、今年で第 23 回となる JCHO 久留米老健納涼大会を開催いたしました。当日のステージでは筑水高校和太鼓部のパワフルな和太鼓演奏や、キッズルーム SUNSUN（併設の託児所）の園児たちによるかわいいダンス（アキレスケンタウルス体操）、各階の利用者様とスタッフによる出し物（鳴子演奏、カラオケ、マジックショー）や、女性スタッフ達による相撲大会（第２回 JCHO 場所）などなど大いに盛り上がりました。最後は、利用者様が２ヶ月前から練習してきた『少年時代』を全員で合唱して納涼大会を締めくくり、笑顔が絶えない一日となりました。この笑顔を忘れずに、より一層のサービスを目指し、これからもスタッフ一同、力を合わせて頑張りたいと思います。